

介養協第91号
令和5年3月20日

協会会員
介護福祉士養成施設 理事長 殿
学校長 殿

公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会
会長 澤田 豊
介護福祉士養成のあり方検討委員会
委員長 鈴木 利定

今後の上位資格設置等についての再アンケート調査へのご協力をお願い

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当協会の事業につきましては、平素から格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今後の介護福祉士養成のあり方について率直なご意見を伺いたく令和4年12月28日付で「今後の上位資格設置等についてのアンケート調査へのご協力をお願い」をさせていただきました。多くの養成校の皆様からご回答をいただき感謝申し上げます。いただいた回答の集計結果を別紙1「アンケートの集計結果」にまとめましたのでご参照いただければ幸いです。

介護福祉士養成のあり方検討委員会では、このアンケート結果を踏まえて上位資格設置について検討していくこととしておりますが、検討のためには回答内容の更なる分析が必要であるとの結論に達しました。

つきましては、別紙2のとおり再アンケートを実施することといたしましたので、前回のアンケートにご回答いただけなかった方を含め理事長又は学校長などの方に、幅広く多くのご回答をお願いいたします。

ご意見は別紙回答票に記入いただきGoogleフォームにより令和5年4月5日（水）までにご回答をお願いいたします。

ご多忙中、恐縮ですが、本調査の趣旨にご理解を頂き、ご協力のほど、何卒お願い申し上げます。

【問い合わせ先】

公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会
事務局 山田

TEL : 03-3830-0471 FAX : 03-3830-0472

Email : chousa@kaiyokyo.net

別紙 1

アンケートの集計結果

アンケートの調査概要は次のとおりです。

調査概要

項目	内容
実施期間	令和4年12月28日～令和5年1月20日
実施対象	介護福祉士養成施設314課程の 理事長、学校長
依頼方法	・協会事務局から養成校宛てにメールにより依頼 ・郵送により依頼（回答のための返信用封筒を同封）
調査主要項目	・学校運営上の課題 ・上位資格設置についての考え ・外国人留学生に関する課題 について、自由記述により回答
回答方法	グーグルフォーム、FAX、郵送など
備考	回答期限以後に寄せられた回答も反映
有効回答数	120名（回答率 38.2%） 媒体別内訳 グーグルフォーム 89 郵送 23 ファクス 7 メール 1

○ 設問ごとの主な回答とその件数

(回答は自由記述であったことから事務局で回答文を個別に判断した件数)

1 貴養成校の学校運営上の課題がありましたらお聞かせください

- (1) 学生の確保 (81.7% 98件)
- (2) 介護の魅力不足 (15% 18件)
- (3) 人手(教員)不足 (10.8% 13件)
- (4) 学習困難な学生 (10.8% 13件)

2 当協会理事会や「介護福祉士養成のあり方検討委員会」で検討している上位資格の設置についてのお考えをお聞かせください

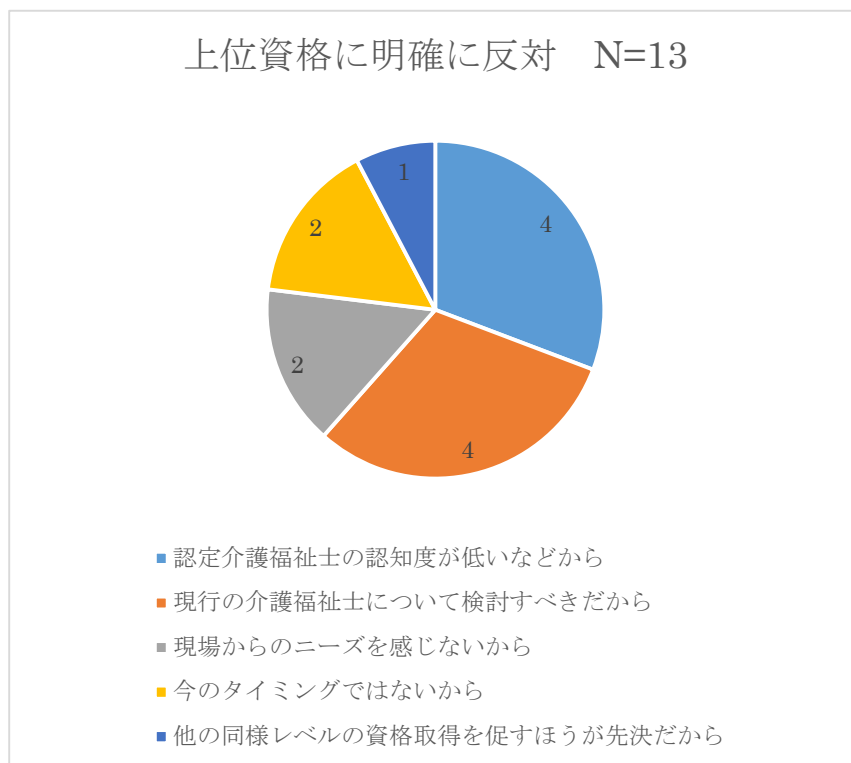
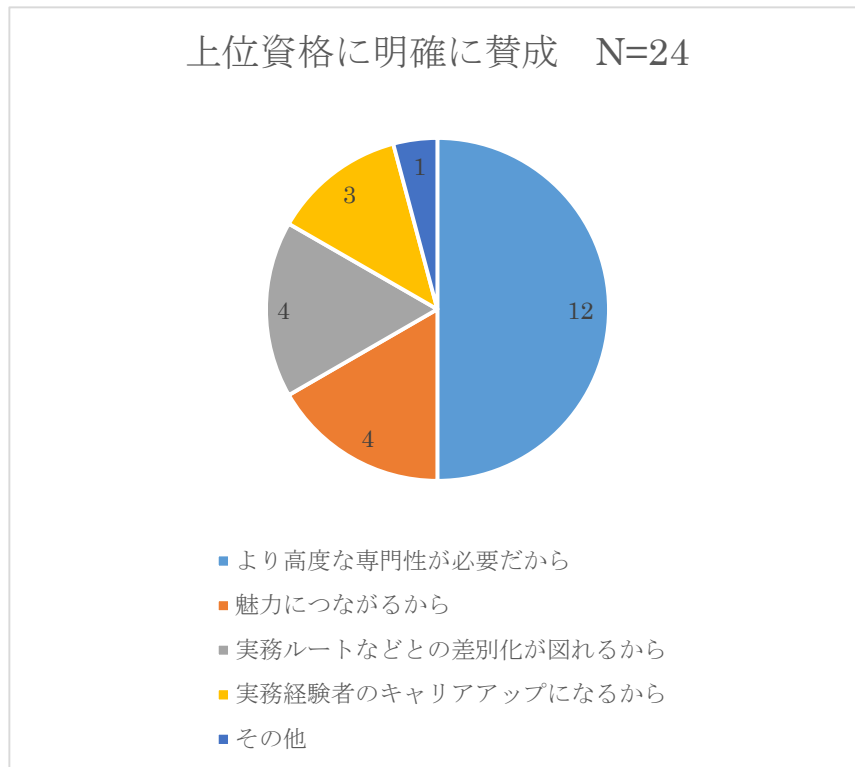
- (1) 設置に明確に賛成 (20% 24件)
- (2) 設置に明確に反対(10.8% 13件)
- (3) 過去の施策の検証 (41.7% 50件)
- (4) 業務独占 (15% 18件)
- (5) 認定介護福祉士との関連 (18.3% 22件)
- (6) 処遇改善 (15.8% 19件)
- (7) 学生確保 (16.7% 20件)
- (8) 他の関連資格との整合性 (11.7% 14件)

3 外国人留学生に関する貴養成校の学校運営上の課題がありましたらおきかせください

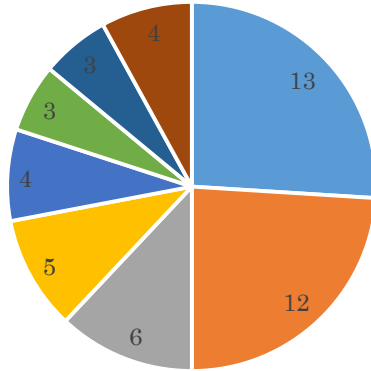
(参考 全国314課程のうち令和4年4月に外国人留学生が入学したのは143課程)

- (1) 日本語 (28.3% 34件)
- (2) 奨学金など経済面 (19.1% 23件)
- (3) 留学生募集 (12.5% 15件)
- (4) 生活環境 (12.5% 15件)
- (5) 国家試験対策 (10.8% 13件)

- アンケートの設問のうち「2 上位資格の設置についてのお考えをお聞かせください」についての回答内容を更に分析した結果は次のとおりです。

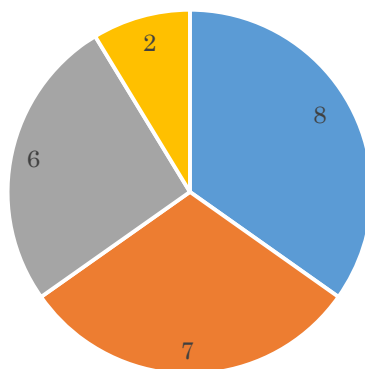


過去の施策検証が必要 N=50



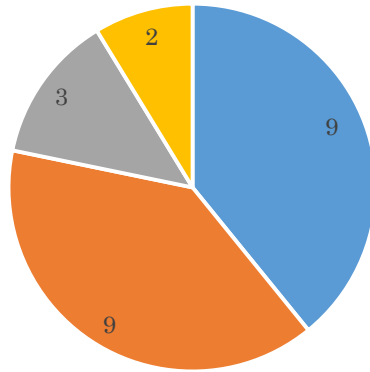
- 介護福祉士についての議論が優先
- ニーズが感じられないから
- 資格取得一元化が優先
- 認定介護福祉士との整合性
- 4年制大学のみ利点
- 実務者ルートとの差別化
- 資格の中身の議論が不十分
- その他

業務独占（差別化） N=18



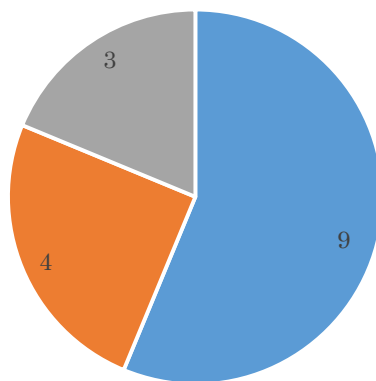
- 複数取得ルートとの差別化が必要だから
- 専門性の価値を上げる
- 処遇改善に効果がある
- まずは業務独占化が優先

認定介護福祉士との関連 N=22



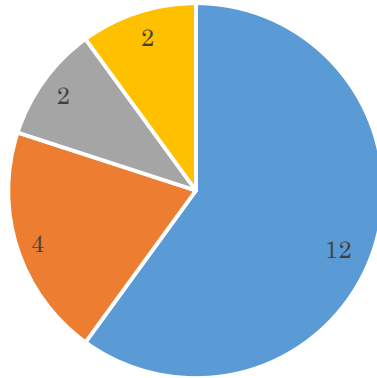
- 認定介護福祉士とのすみ分けの明確化が必要
- 認定介護福祉士の二の舞（認知度・人気度・処遇効果など）
- 認定介護福祉士で十分
- その他

処遇改善 N=16



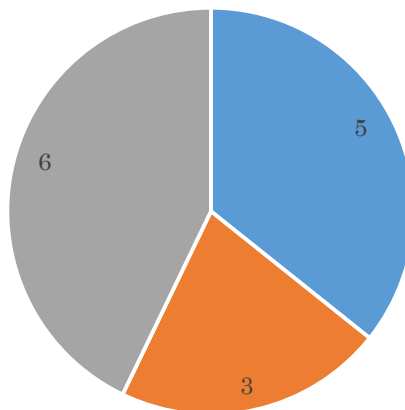
- 資格取得によって処遇改善が必須
- 介護事業所にとって加算対象となればよい
- その他

学生確保 N=20



- 養成課程が長期になれば経済的負担も多く、募集は困難
- 上位資格の設定が若者への魅力につながるか疑問
- 長期の養成課程は医療系へ希望が流れてしまうから
- その他

他の関連資格との整合性 N=14



- すでにある他の関連資格の整理が先
- すでにある資格とのすみ分けの明確化
- その他

以上

上位資格設置に関する再アンケート

次の質問について、グーグルフォーム
(<https://forms.gle/CxkhLe3ZZyfi5MWCA> 右のQRコード)
により令和5年4月5日(水)までにご回答をお願いいたします。



グーグルフォームでの質問項目は以下のとおりです。

質問1. あなたは、上位資格の設置に賛成ですか。反対ですか。

- 賛成
- 反対
- どちらともいえない

【質問1. で「賛成」と回答いただいた方に質問します】

質問2 上位資格の設置に賛成の理由として該当するもの全てに☑を入れてください。
また、その他のご意見がありましたら、記述してください。

- より高度な専門性が必要だから
- 魅力につながるから
- 実務ルートとの差別化が図れるから
- 福祉系高校ルートとの差別化が図れるから
- 実務経験者のキャリアアップになるから
- 専門性の価値が上がるから
- 処遇改善に効果があるから
- 業務独占化に値する資格となるから
- 介護事業所にとって加算対象となれば、資格の魅力が増す
- その他 ()

【質問 1. の回答内容にかかわらず全ての方に質問します】

質問 3 上位資格の設置に反対の理由、上位資格の設置に「賛成」「どちらともいえない」の方でも設置にあたっての課題であることに該当するもの全てに☑を入れてください。

また、その他の反対の理由、課題がありましたら、記述してください。

(上位資格のニーズ)

- 1-1 介護現場からのニーズを感じないから
- 1-2 他の同等レベルの資格取得を促すほうが先決
- 1-3 今のタイミングではない

(他の優先事項がある)

- 2-1 現行の介護福祉士についての議論が優先
- 2-2 現行の資格制度を業務独占すべき
- 2-3 すでにある他の民間資格などの整理が優先
- 2-4 すでにある他の民間資格などとのすみ分けの明確化が必要

(過去の施策検証が必要)

- 3-1 資格取得一元化が優先
- 3-2 4年制大学でのメリットにしか感じない
- 3-3 上位資格の中身の議論が十分でない

(認定介護福祉士)

- 4-1 認定介護福祉士の認知度が低い
- 4-2 認定介護福祉士とのすみ分けの明確化が必要
- 4-3 現行の認定介護福祉士の認知度や処遇効果などによりニーズがあるか疑問
- 4-4 認定介護福祉士があるので、必要ない

(学生確保)

- 5-1 養成課程が長期になれば経済的負担で募集がさらに困難
- 5-2 若者への魅力につながるか疑問
- 5-3 養成課程が長期になれば医療系へ進学希望者が流れることが懸念
- その他 ()

【以上】